

- 1 会議名 総務・産業建設常任委員会協議会
- 2 日時 令和3年11月2日(火)
午前10時から午前10時43分まで
- 3 場所 第1委員会室
- 4 出席委員 (委員長)片岡健一郎(副委員長)梅村均
(委員)鬼頭博和、水野忠三、黒川武、堀 巖、榊谷規子
- 5 欠席委員 なし
- 6 事務局出席 議会事務局長 丹羽至、同統括主査 寺澤顕
- 7 委員長挨拶
- 8 協議事項

(1) ヒアリングを踏まえての政策提言について

片岡委員長：皆様からいただいた意見を集約した資料を基に各施策を協議していききたい。今後どのテーマを取り上げ、その後提言書提出に向けての議論、また委員会代表質問を行っていくのか決めていきたい。

①命を救う「AED」の充実に向けて

片岡委員長：ヒアリングでAEDが設置されている施設とそうでない施設があることを確認できた。その設置状況が十分ではないという結論であった。また、助成に係る先進事例を紹介(大和市)いただいたが、実績があまり上がっていないことがわかったところである。提言案にもあるとおり、レンタル費用への助成を提言してはどうかという意見もいただいている。個人や事業者への助成を提言し配備を充実していきたいと考えるがご意見はあるか。

梅村副委員長：結論を急いではいけないが、提言案に対する委員会代表質問ができるか否かくらいは決めていきたい。先のヒアリングを聞くと市が優先的に取り組む事項かと考える。購入に対する助成を行うという質問は、今後より検討が必要と思う。代表質問を行うまでの段階ではないと考える。

堀委員：ヒアリングの中でAEDの実施は、事案の発生から5分以内が理想だという意見が聞かれた。その中で現状の配置ではカバーできていない場所があること、公共施設に避難所として設置することから始まっているので今後は検討したいとも消防本部が意見していることから提言するのであれば加えても良いのかなと考える。

片岡委員長：委員長としても現状から設置数を増やすという考えは良いと考えている。結論を急ごうとは思わないが、AEDについては助成よりは現状不足している。発生から5分以内の実施をカバーしていくような報告でこの協議会の中で研究していきたいと考えるがどうか。

梅村副委員長：5分以内という視点で調査して、代表質問を実施するのか、提言

になるのか模索していきたいと思う。

片岡委員長：現状のAEDの配置をよく考えて引続きの検討課題としたい。

各委員：異議なし。

②五条川健幸ロードの除草対策について

片岡委員長：現状は年間に県1回、市2回の除草の実施である。実施回数は増えているものの実際は足りていないという結論であった。樹木や傾斜面の状況を鑑みるとボランティアによる作業では技術的に難しく、専門業者でないと危険だという執行機関の意見であった。提言案は従来どおりの業者委託が適切で、除草の実施回数を増やしてはどうかという内容である。

梅村副委員長：提言案のとおりであると考え。除草作業自体もそうであるが、除草後の処理も困難に思う。範囲を狭めて毎日実施すればできないこともないかと思っただ、業者委託が最適と考える。健幸ロードと銘打ったわけでもあるので、意見が一致すれば予算の増加を見込んでの提言ができればと考える。

黒川委員：提言案にあるように求められるのは確実性と継続性である。ボランティアという意見はすばらしいのだがきちとした形で実施しなくてはならない。五条川の一部に植栽されているところもあるが、そういった箇所は手が行き届いておらず、放置されているところもある。堤防道路全体のあり方を考えたときにどうすべきか、現状を踏まえた視点から代表質問として問題提起したいと考える。現状は十分ではなくて不足すべき点に力を注ぐべきとして質問していきたい。

堀委員：ヒアリングでは、やぎに草刈りをという話題で盛り上がったと思うが提言案に取り上げられていない。執行機関もこの施策に関しては否定的ではなかった。全部が全部できるものではないがイベントや観光的なことも含めて提言していくことは面白いと考えるがどうか。

榊谷委員：以前にやぎの放牧を民間の耕作放棄地で行ったようであった。

梅村副委員長：やぎを活用しての除草対策も困いが必要であったり、夜は小屋に戻したりだとか、やぎの世話を誰かが管理人として実施することになる。課題もあるので、具体的に提案できるものがないと難しいかと考える。

榊谷委員：費用はJAに委託している人とほぼ同等であった。雑草の後処理もないし、景観上子どもやお年寄りの癒しの場になる。除草剤を使わずにきれいにできる。

堀委員：西部保育園の近くなので時折見るのだが、やぎは自分で小屋に戻るし放牧はそれほど手間ではないと考える。

片岡委員長：引き続き研究して代表質問に結び付けられると判断したならば良いかたと考えるがどうか。

梅村副委員長：除草回数が不足しているということを一貫できるのであれば問題提起して、黒川委員が発言されたように堤防道路も含めてその点で代表質問してはどうかと考える。健幸ロードでのイベント的なものは実現性を含めて議論しては必要として一貫できたらと考える。

片岡委員長：全委員で現在の除草回数が少ないという意見で一貫できるならば代表質問につなげる方向で検討して行きたい。

水野委員：入鹿池からの五条川沿いの自治体の除草回数とも比較しながら議論が必要かと思う。

片岡委員長：近隣市町の取組との比較も重要かと思う。

榊谷委員：ヒアリングの際にも維持管理課長から発言があったが、自治体毎に堤防面積も違うし同じ五条川でも比較論が結びつくとも思えない。回数が少ないという市民の意見は間違いないものかと思う。

片岡委員長：やはり重要なのは現状の過不足である。委員会において回数が少ないと判断したならば今後も協議事項として継続したい。

堀委員：尾北自然遊歩道でもあると思うので遊歩道としての在り方も踏まえて議論していくべきと考える。

片岡委員長：集約すると各委員除草の回数が不足しているとの意見のようだ。代表質問で取り扱うかどうか引き続き議論したいと考えるがどうか。

各委員：異議なし。

③食品ロス削減の推進について

片岡委員長：黒川委員から「やまぐち食べきり運動 inUBE」の資料もいただいたところである。ヒアリングにおいて執行機関の意見としては、食品ロスの課題は数値化が難しく市として把握ができないということであった。数値目標というよりは家庭や飲食店向けの啓発が提言として考えられる。先進事例などの意見を多くいただいたが委員の意見はどうか。

梅村副委員長：本日の議論の中で啓発推進という方向性からも取り上げやすいと思ひ、何かしら提言できればと考える。

水野委員：啓発と共に食品ロス削減の施策に取り組んでいただいた飲食店に対するインセンティブを議論してはどうかと考える。

黒川委員：前回のヒアリングにおいて環境保全課の清掃事務所長が出席し意見を交換したのだが、ゴミの減量化・資源化という視点で食品ロス削減を考えている。その視点から考えればそうかもしれないが清掃事務所は現業の職場であって人員も限られる中、このような新しい取組を投げかけるのはいかなものかと考える。食品ロスの問題はSDGsにも掲げられる全世界の課題であって環境保全課だけに留まらず全庁的な問題と考える。市が事業系の廃棄物にまで手が出せるかということとそうでもない、かと言って手を付けずとも

良いかと問えばそうではない。商工農政課も関わってくることになるし、学校給食にも及ぶ。市全体で食品ロスの課題を取り上げる体制の構築が重要で、その上で計画を作っていくことも重要と考える。総合計画でSDGsの気候変動について触れられていない。地球温暖化対策実行計画事務事業編があって、今後新たに区域施策を作ることになる。区域施策は市民も含めた岩倉市全体での地球温暖化対策実行計画をどうするのかという実践計画である。議会からの政策提言としてこれらを問題視して代表質問につなげていきたい。環境保全課の清掃事務所一部門だけの問題ではない。

片岡委員長：食品ロスの問題について全庁的に取り組んでいくという内容のご意見であった。今後も食品ロス削減については取り上げていくことには一致できるものと感じている。引き続き課題として研究していきたいがよろしいか。

各委員：異議なし。

(2) 今後の進め方について

片岡委員長：議論した3つの事項に関して今後も協議会として取り上げることが確認できたが、委員会代表質問なのか政策提言として取り扱っていくのか意見はあるか。また3つの事項全てを質問するのは可能か。

梅村副委員長：例えば代表質問を実施するものと仮定したならば、実際に正副委員長で質問案のたたき台を作って委員会で議論するのが良いのではないか。今日の議論を踏まえてまずは五条川健幸ロードの除草対策について代表質問できるようなたたき台を作ってはどうか。議論した上でまだ余力があれば食品ロス削減やAEDの充実も質問や提言に向けたたたき台を作るという手法しかないかなと考える。

鬼頭委員：私も以前厚生・文教常任委員会委員長として代表質問を行った。委員長が質疑を作成し委員に諮って委員会代表質問に臨んだが、その時感じたことはもう少し委員会で質問事項に対する議論が必要だったかと感じる。たたき台を作成していただき委員の様々な意見を盛り込んでいけたらと考える。

片岡委員長：理想は委員全員で作りに上げていくのが良いかと思うがなかなか難しいので、3つのテーマに関して正副委員長でたたき台を作り、委員の皆様を示していきたいがよろしいか。

各委員：異議なし。

堀委員：食品ロス削減は全庁的なものとなるので、関係部署とヒアリングを行わないことには代表質問に至らないのではないか。例えば学校給食の残飯は養豚場に回していたり、全体的に考えないと福祉の観点もある。

片岡委員長：指摘のとおり関連部署の意見をいただいた上でたたき台を作っていく。それを基に議論したい。

鬼頭委員：様々な意見が出たが食品ロス削減に向けては多くの部署も関わってくる事が予想されるので、じっくり議論していても良いのかなと感じた。

(3) その他

黒川委員：総務・産業建設常任委員会に関する事としてホームページで「岩倉ブランド野菜の知名度向上」と「市道除草等委託料予算の拡充」について市民から意見をいただいているところである。これらの意見が出揃ったところで協議が必要となるため、今日の議論と併せて次回に協議いただきたい。

梅村副委員長：全庁的な部署とのヒアリングは協議会として実施したい。

片岡委員長：食品ロス削減に関するヒアリングは協議会として実施するものとする。

9 その他

特になし。